

学校だより

第29号 ひたちなか市立勝倉小学校
令和8年2月2日(月)発行
児童数 292名 実家庭227戸



「鬼は外 福は内」 明日は節分

厳しい寒さが続いており、春の訪れが待ち遠しい毎日ですね。明日は節分、そして2月4日は立春です。偕楽園の梅もほころび始めたと聞き、寒い中にも春が近づいていることを感じます。節分には、ぜひ豆まきをしたり恵方巻きを食べたりして、季節の変わり目の邪気払いと無病息災を願った、日本ならではの季節の行事を味わってください。

2月の生活目標は「寒さに負けず生活しよう」です。学校では、1月後半になって再度インフルエンザの罹患者が増え、1クラス学級閉鎖を実施いたしましたが、その後広がることなく現在に至っております。寒さと乾燥はしばらく続くようですので、今後もお子さんの体調管理に努めていただきますようお願い申し上げます。

1月15、16日、4年生から6年生を対象に県の学力診断のためのテストを実施いたしました。現在、採点を終了し結果の分析を行っています。学年によって違いはありますが、問題文の読み取りが十分でないことは共通の課題だと感じています。それぞれの学年と教科ごとの課題を明確にし、今後の学習指導に生かしてまいります。今月もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

子供は風の子！ 元気に外遊びを楽しんでいます

子供たちは「朝、ふとんから出るのがつらいんだよな」「早くあたたかくならないかな」といった言葉も聞かれますが、中休みや昼休みには、寒さに負けず外に出て元気に遊ぶ姿がたくさん見られます。

冬休み明けからは、特に縄跳びに取り組む子供たちが増えています。ジャンプ台を使って、二重跳びや、あや跳び、中にはハヤブサなどの難しい跳び方に挑戦している子もいます。また、一輪車も人気です。友達に教えてもらいながら、上手に乗れるように一生懸命練習している子、すいすいと気持ちよく乗っている子等、ほほえましい光景が見られます。自分のペースで楽しみながら運動し、しっかりと体力をつけてほしいと思っています。



「ラーケーション」についてのお願い

学校では、現在一年間に5日間ラーケーションをとることができます。基本的に、一週間前までの申請となっておりますが、ここ数ヶ月、当日に「ラーケーションで休みます」といったご連絡が増えています。

ラーケーションとは、「ラーニング」(学習)と「バケーション」(休暇)を掛け合わせた造語で、保護者の休暇に合わせて子供が平日に学校を休み、校外での体験や探究活動を行う制度で、欠席にはなりません。本校では、特に用紙での申請や報告はお願いしておりませんが、ラーケーションの趣旨をご理解いただき、ラーケーションをとる場合は、事前に担任にお知らせいただきますよう、ご理解・ご協力ををお願い申し上げます。